

毎月1回、ビジネスのお役にたつ情報をおとどけいたします。



# U-mic News

ユーミックは、さまざまな得意分野を持つ  
コンサルタントが集まったスペシャリスト集団です。

## Vol.7

### Monthly voice

遅ればせながら、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。昨年はいずれも皆様のご支持もあり、我々一同、様々な仕事をさせていただくことができました。今年も皆様のお役に少しでも立てばと思ひ、このユーミックニュースも含めて、一層頑張りたいと思ひます。さて、皆様は今年、どのような目標を考えられたのでしょうか？私自身はというと、以前読んだ本の受け売りですが「過去と同じような1年は過ぎさない」というのをモットーに、少しでも何か新しいことにチャレンジするように心がけております。去年は通常のアドバイスの他、「実行支援」をテーマに掲げ、立案した経営計画をきちんと実行していくため、部門別会計の導入、IT化を含む業務改善、デザイナーと協調した販促資料の作成、進捗確認のための経営・営業会議の司会などを単発のアドバイスに留まらず企業に実行を促すようを意識してやってきました。それを踏まえ今年には「従業員を巻き込んだプロジェクト活動の実践」を多くやっていきたいと思ひます。昨年、4~5社にて会議の司会を担当し、会議を通じて社員の力を引き出し、育成することの大切さを経験しました。社員に限らず社長が言いにくいことを外部の視点から指摘・フォローしていくのが喜ばれているようです。会議の司会・進行役というと、「ファシリテーション」という言葉が少しずつ浸透しつつあります。このファシリテーションを通じたアドバイス手法、人材育成手法を私なりに確立したいと考えています。（吉田 英憲）

### Monthly Book review

「六韜三略」（りくとうさんりやく）

著者：守屋 洋（編著）

（株）プレジデント社



六韜三略

¥2,625

孫子の兵法書を愛読する経営者の方は多くいますが、今回は孫子と並ぶ兵法書として知られる「六韜三略」をご紹介します。この書は、「六韜」と「三略」に分かれており、周の軍師である太公望呂尚が主君である文王と武王を指南する形式で書かれている兵法書です。「国を治めるために最も大切なことは？」「どのような人物を登用すれば良いのか？」といった主君からの質問に対し、太公望が丁寧に答えるといった、現在で言うハウツー本のイメージで、読み易い内容になっています。三国志に出てくる英雄の孫権や、日本では中臣鎌足や源義経、北条早雲が読んでいたと伝えられ、古くからリーダーの必読書となっています。もっとも有名な文章としては三略に「柔能く剛を制し、弱能く強を制す」という言葉があります。簡単に言えば、柔剛強弱をバランス良く使い分けることが大切だということになりますが、経営を行う上でも基本になることだと思います。リーダー論や組織論に興味がある方、また、歴史に興味のある方には、ぜひ、読んでいただきたい一冊です。（渡真 久）





### 小企業の事業価値である「知的資産」

見える化し、将来に向けた価値創造やビジョンをレポートにまとめるという事業です。今回担当したのは、従業員約200名の精密鑄造部品の製造業です。すばらしい知的資産が多数ある中で最も印象的だったのは、モノ作りの技術ノウハウの伝承についての取り組みです。社長やかつて現場の第一人者であった管理職が定期的に現場教育を行うというもので、なぜその作業を行う必要があるのかという作業の意味づけや効率的な作業方法を伝授しています。人材育成には「考え方」と「やり方」を教えることが必要であり、まさに理にかなった取り組みに感心しました。このような取り組みの成果が出るには時間がかかります。自社の将来を見越して①伝えなくてはならないものは何であるか（考え方・やり方）②誰が伝えるのか③誰に伝えるのか④いつ、どのタイミングで伝えるのかを早めに検討することが必要であると改めて感じました。

---

**小倉 綾**

Kokura Aya

百貨店に入社後、仕入、販売や在庫管理販売促進の企画、運営、販売員教育業務や首都百貨店とのコラボレーションショップ店長として新規ショップ立ち上げを経験。現在、流通業やメーカー向けに販売促進や売場改善を中心としたコンサルティングをおこなっている。中小企業診断士